

こうや 高野町

しゃくなげ
石楠花こうやなぎ
高野槇

HPアドレス <http://www.town.koya.wakayama.jp/>

町名の由来

今からおよそ1200年前の高野山^{かいそう} 開創から明治初年まで寺領として管理され、明治11年高野山外の13大字で高野村を組織し、1889（明治22）年4月、町村制の施行により高野村となりました。1928（昭和3）年11月1日に町村制を施行して高野町となり、さらに1958年6月1日、町村合併促進法により富貴村と合併しました。

町章の由来

高野町の「高」を図案化し、「塔」（歴史）をかたどって、「太陽」（町制の発展）と「月」（平和と文化）をいただき限りなく繁栄する高野町を表したものです。

町の紹介

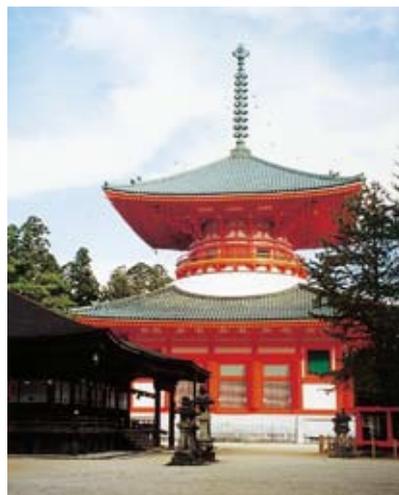
町の中心である高野山上は、町人口の約70%を占め、産業、文化、経済の中心地であり、またわが国有数の山岳仏都、観光の町として発展していますが、他の地区は過疎化状態にあります。

農林業の生活基盤の整備、道路網の整備改良、教育環境の改善など積極的に推進していますが、地理的悪条件はどうしようもなく、最大の課題となっています。

緑深き山々に包まれた高野町は、歴史の重みと文化の香りが宿る町です。

平成16年には文化遺産として、世界遺産に登録されました。

私たちは、先人の努力をうけつぎ、心のふるさと高野町をこよなく愛し、これからも希望に満ちた“世界にひらけゆく高野文化のまち”「宗教環境都市」として、安心と安らぎを共感できるまちづくりに取り組んでいます。

こゑんだいぶつ
根本大塔

きみの 紀美野町



さくら



セグロセキセイ



カヤ（榎・栢）



HPアドレス <http://www.town.kimino.wakayama.jp/>

町名の由来

紀州（和歌山県）の「紀」と美里町の「美」と野上町の「野」を合わせた名称で、町民だけでなく、町外から訪れる人たちにも、「君の町」は「私の町」、「みんなの町」であり、ともにより良いまちづくりをめざそうとする想いと、美しい自然を守り、自分たちのふるさとであるという意識を持ってほしいと願いをこめました。

町章の由来

フレッシュ感あふれるブルーと、若葉をイメージしたグリーンは、紀美野町の美しい空と川、そして山の木々の緑を象徴しています。

円を基調とした滑らかなシルエットは、住民の調和による優しいふるさとの姿をイメージするとともに、未来へ向けた発展と飛躍への期待が込められています。

町の紹介

2006（平成18）年1月1日に野上町と美里町が合併して誕生した紀美野町は、中央を東から西に貴志川が流れ、南には長峰山系が連なり、ススキの大草原で壮大なパノラマが楽しめる県立自然公園「生石高原」、屈指の反射望遠鏡を誇る星の動物園「みさと天文台」などがある自然豊かな町です。

また、のかみふれあい公園をはじめ多様な交流が行える施設があり、心あたまる癒しの空間が充実しております。

十三神社、野上八幡宮など数多く古くからいわれのある文化財があります。かつてシュロを原料として栄えた製造業も時代の移り変わりと共に石油化学製品を原料とした製造業に変貌してきましたが、昔から培われてきた伝統産業を支援しながら、新産業を取り入れ、新たな付加価値を生む事業おこしの促進をしています。

山の斜面を利用して、柿、みかん、山椒づくりも盛んに行われています。

「空・山・川のふれあいのある美しいふるさと」を将来像とし、豊かな自然環境を大切に、次代に継承するため豊かな教育と文化づくり、安全・安心なまちづくり等に積極的に取り組んでいます。



のかみふれあい公園